

各委員からの御意見及びそれに対する考え方について

1. 資料3「2019年度冬季の電力需給実績の振り返り及び2020年度夏季の需給見通し・対策について」

委員からの御意見

【大石委員】

- ・この結論で、特段の問題はないと考えます。ただ、今回コロナ禍で新しい生活様式での初めての夏を迎えることで、これまで停滞していた企業活動が一度に再開されることによる問題が発生しないよう、注意深く見守って欲しいと感じました。
- ・消費者も、マスク生活の夏は初めてですので、無理のない範囲での省エネをどこまで求めるのかも難しいと感じていますが、その分、できるところでは新しい技術等を導入して、できるだけ省エネを推進することも必要ではと思っております。

【大橋委員】

- ・現在利用可能なデータを用いた結果として、妥当な内容と思います。予備率3%を確保するにあたり、電力会社に対して、デマンドリスポンス等、需要面での取組の促進を図ることを求めるとされるが、DRの実績も併せてデータとして取ることが良いのではないかと。
- ・なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響は、需給ひっ迫を緩和する方向に向かわせることが予想されるが、注視していくべき。産業用・業務用・家庭用等、電力需要への影響をきめ細やかに見ていくことも求められるだろう。

【大山委員】

- ・事務局提案「数値目標付き節電要請は行わず、例年どおり、需給ひっ迫時への備えを構築しつつ、省エネキャンペーンなど無理のない範囲での節電の協力を呼びかける」に賛同いたします。
- ・今後、COVID-19の影響により不確実性が増すものと予想されます。需給状況をしっかり見守り、変化があれば速やかに対応するようにお願いします。

【村松委員】

- ・2020年度夏季の電力需給対策について、記載案に同意する。
(数値目標付きの節電要請は行わず、省エネキャンペーンなどによる節電協力呼びかけの実施)

- ・新型コロナウイルス感染症対策による業務用・産業用需要の減少と、テレワーク・分散オフィス推進による家庭用需要の増加の、両方の予測が難しいことと思われるため、需給実績の前年度比較など、引き続き分析を注意深く実施していただきたい。需給予測の変動があれば、早めの対策をお願いしたい。
- ・省エネキャンペーンでの取組例は、ウイズコロナの日常では今までと異なるものになると思われるため、国民の皆様にも早めに呼びかけをお願いしたい。

※その他の委員においては、事務局案について、異論なしの旨、ご回答いただいております。

<事務局の考え方>

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する御意見に対して)

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響については、引き続き、需給状況を注視し、状況に著しい変化があった場合には、必要に応じて対応することといたします。また、省エネの推進等については、御意見も踏まえ、取り組みを進めてまいります。

(DRの実績データの取得に関する御意見に対して)

- ・2019年度冬季においては、DRの発動はございませんでした。電力広域的運営推進機関の有識者会議（調整力及び需給バランス評価等に関する委員会）の中で、DRの発動実績の確認を行っておりますが、引き続き、広域機関とも連携して、データの取得に努めてまいります。

<山内委員長取りまとめ>

- ・2019年度冬季の電力需給実績の振り返り及び2020年度夏季の需給見通し・対策については、事務局案で異論はなかったため、事務局において必要な手続きを進めてください。
- ・各委員からの御意見については、上記の考え方を踏まえつつ、今後事務局において必要な検討や対応を行っていただくようお願いいたします。